

○市町村がん検診受診率の経年変化

単位：%

がん種	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	7.4	7.2	6.2	7.4	7.2	7.6	6.7	6.2	5.9	6.3
肺がん	9.4	9.5	8.5	4.7	4.6	4.5	4.1	3.3	3.8	3.9
大腸がん	12.7	13.0	11.9	5.7	5.5	4.7	5.1	4.2	4.8	4.9
乳がん	24.3	28.7	25.5	14.7	15.0	15.5	13.5	12.3	12.3	13.3
子宮頸がん	31.5	32.9	27.4	15.2	13.8	13.5	14.6	14	14	14.9

出典 地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)

※平成28年度から、対象者数の算定方法を「市町村の住民全体」に統一したため、平成27年度以前と平成28年度以降の受診率を比較することはできません。

○市町村がん検診受診率の全国比較(令和4年度)

単位：%

R4	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
全国	6.9	6.0	6.9	16.2	15.8
福岡県	6.3	3.9	4.9	13.3	14.9

地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)

※平成28年度以降の胃がん・乳がん・子宮頸がん検診の受診率

「前年度の受診者数＋当該年度の受診者数－2年連続受診者数」／「当該年度の対象者数」×100

※がん検診の受診率の算定対象年齢

胃がん【50歳～69歳】、肺がん・大腸がん・乳がん【40歳～69歳】、子宮頸がん【20歳～69歳】